

平成 27 年 1 月 16 日  
海事局船舶産業課

## 第 2 回 ASEAN 諸国の船舶安全基準の調和促進のための 実務者会合の開催について

ASEAN 諸国が定めている内航船舶の安全基準や船舶検査制度は、国によって大きく異なっており、さらには、多くの加盟国において安全基準・制度自体が十分でないため、沿岸域における船舶事故が多発しています。

そのため、国土交通省は、ASEAN 諸国において内航船舶の安全基準を改善・調和させるプロジェクトを日 ASEAN 交通連携プログラムの一つとして ASEAN 諸国に提案し、2013 年度より、フィリピンへの専門家派遣や ASEAN 諸国での安全基準の策定に必要な調査等を進めてまいりました。

昨年 11 月には、第 1 回実務者会合をフィリピン海事産業庁と共催し、日本からは内航船舶の航行区域策定ガイドライン案を提案し、ASEAN 諸国においては自国制度の見直しについて検討作業を進めることが合意されました。

この度、上記ガイドライン案の最終化作業や、プロジェクトの今後の進め方について議論するため、第 2 回実務者会合を 1 月 20 日(火)に東京で開催することになりましたので、お知らせいたします。

当該プロジェクトは、ASEAN 諸国における船舶の安全性向上や、制度的連結性の強化に貢献するものであり、域内海上交通網の更なる発展が期待されます。

(会合の概要は別紙参照)

### 【問い合わせ先】

国土交通省海事局船舶産業課 井田、梅崎  
(代表) 03-5253-8111 (内線) 43-653、43-612  
(直通) 03-5253-8634 (FAX) 03-5253-1644

「第2回 ASEAN 諸国の船舶安全基準の調和促進のための実務者会合」概要

1. 日時：2015年1月20日（火） 9：30－17：00
2. 場所：東京都千代田区、ホテル ルポール麹町 会議室
3. 参加者（予定）：  
ASEAN 加盟国：8ヶ国（フィリピン、ブルネイ、シンガポール、ラオス、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、マレーシア）の船舶安全政策担当者  
日本：国土交通省海事局船舶産業課、安全政策課 他  
国際機関：国際海事機関(IMO)技術協力部長
4. 主な議題（調整中）：
  - ① 内航船安全基準策定のための航行区域策定ガイドライン案の最終化
  - ② 船舶検査チェックリスト案と各国検査制度の比較検討
  - ③ IMOにおける内航旅客船の安全性向上に向けた取り組みの紹介
  - ④ ASEAN内航船安全基準の調和プロジェクトの今後のロードマップ
5. その他
  - ・実務者会合冒頭のカメラ撮りは可能です。
  - ・取材をご希望される方は、1月19日（月）15時までに、氏名、連絡先等をご連絡の上、当日9：20までにホテル ルポール麹町 会議室「ガーネット」受付スペースまでお越しください。